

6/9 2024
日

15:00開演 14:30開場

岡崎市シビックセンター
コンサートホール



チケット発売日

クラシック会員 2月17日(土)09:00~

ベーシック会員 2月24日(土)09:00~

一般 2月24日(土)12:00~

チケット料金

[一般/ベーシック会員]

一般 ¥3,500/学生(25歳以下) ¥2,000

[クラシック会員]

一般 ¥3,150/学生(25歳以下) ¥1,800

チケット取扱い

岡崎市シビックセンター

インターネットチケット予約

<https://www.civic.okazaki.aichi.jp/>

電話予約

0564-72-5111 (9:00~20:00)

※一般の方の電話予約は2月25日(日)9:00から

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。

クローズアップおかげさき

アンサンブル 天竺 下 統 2024

エネスク: オーバード(朝の歌)

ベートーヴェン: 弦楽三重奏曲 ニ長調 Op.9-2

ブラームス: ピアノ四重奏曲 第3番 ハ短調 Op.60

※公演内容・曲目は一部変更される場合がございます。

主催: 岡崎市/岡崎市シビックセンター指定管理者 SPS・トーエネック・ピーアンドビー共同事業体

お問い合わせ: 岡崎市シビックセンター 〒444-0813 岡崎市羽根町字貴登野15番地

TEL:0564-72-5111 FAX:0564-72-5110 <https://www.civic.okazaki.aichi.jp/>

ドイツ音楽の光と影 II

巨匠パスカル・ドゥヴァイヨンを迎えて

VIOLIN
長原幸太

CELLO
中木健二

VIOLA
鈴木康浩

PIANO
パスカル・ドゥヴァイヨン

©ノザワヒロミチ

アンサンブル天下統一

岡崎市シビックセンターコンサートホールコロネットを拠点に活躍する、岡崎初のレジデントアンサンブル。岡崎市出身のチェロの中木健二と、ヴァイオリンの長原幸太、ヴィオラの鈴木康浩の3人をメンバーとして、2013年に結成。毎年異なるプログラムとゲストを迎えた編成で、演奏会とアウトリーチ活動を行う。表現力豊かなトップ奏者たちならではの、刺激に満ちた室内楽の醍醐味をお届けし、岡崎の音楽文化の更なる発展とクラシック音楽を身近に感じてもらえるような活動を展開している。2023年に結成10年を迎え、岡崎市制施行107周年記念式において教育功績者として表彰を受ける。



©写真員

チェロ 中木 健二

Kenji Nakagi



©塩澤秀樹

岡崎市生まれ。3歳でチェロをはじめ。名古屋市立菊里高等学校、東京藝術大学を経て2003年渡仏、パリ国立高等音楽院、ベルン芸術大学の両校を首席で卒業。05年ルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位受賞、08年第1回Note et Bien国際フランス音楽コンクールでグランプリならびにドビュッシー特別賞、ブーレーズ特別賞を受賞するなど、受賞多数。10年より14年までフランス国立ポルドー・アキテーヌ管弦楽団の首席奏者を務めると共に、リサイタル、オーケストラとの共演、音楽祭出演など幅広い演奏活動を行う。帰国後はソリストとして活躍するほか、室内楽にも情熱を注いでおり、アッカルド、ジュランナ、メネセス、チュマチェンコ、イヴァルディ、ル・サーージュ等と共演。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京藝術大学音楽学部准教授。第11回名古屋音楽ペンクラブ賞受賞。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより貸与されている1700年製ヨーゼフ・ガールネリ。Thomastik Infeld社契約アーティスト。

ヴァイオリン 長原 幸太

Kota Nagahara



©読売日本交響楽団

東京藝術大学附属音楽高等学校を卒業後、同大学を経てジュリアード音楽院に留学。1994年、第6回ヴェニエアフスキー国際ヴァイオリンコンクール17歳以下の部第3位。98年、第67回日本音楽コンクール最年少優勝。レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞を受賞。サイトウ・キネン・オーケストラに最年少参加。12歳で東京交響楽団と共演したのを皮切りに、日本各地の主要オーケストラ、名指揮者と共演。海外での活動も活発に行っており、2003年、英国の湖水地方で開催されている「夏の音楽祭」に招かれ、リサイタルや室内楽の演奏会で絶賛を博した。04年9月大阪フィルハーモニー交響楽団首席客演コンサートマスターに就任、12年まで首席コンサートマスターを務める。11年「第21回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞」受賞。14年 読売日本交響楽団コンサートマスター就任。

ヴィオラ 鈴木 康浩

Yasuhiro Suzuki



©読売日本交響楽団

読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者。5歳よりヴァイオリンを始め、桐朋女子高等学校音楽科(共学)を経て桐朋学園大学卒業。卒業後ヴィオラに転向。第7回全日本学生音楽コンクール東京大会高校の部第1位、第9回クラシックコンクール全国大会ヴィオラ部門最高位、第12回宝塚ベガ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年よりドイツのカラヤンアカデミーで研鑽を積み、その後ベルリン・フィルの契約団員となる。03年にはクラズィッシュェ・フィルハーモニー・ボンのソリストとして、ドイツ各地で演奏し好評を博す。またサイトウ・キネン・フェスティバル、宮崎国際音楽祭など、多方面で活躍を続けている。

ピアノ パスカル・ドゥヴァイヨン

Pascal Devoyon



1978年チャイコフスキー国際コンクールで、フランス人過去最高位の第2位を獲得し一躍世界に名を馳せる。カーネギーをはじめとする世界の主要なホールで、著名オーケストラはもちろん、C.デュトワ、T.ツィンマーマンなど第一線を行く演奏家と共演。近年、夫人村田理夏子とピアノデュオを組み本格的に活動を開始。リリースしたCDは「レコード芸術」特選、準特選を相次いで受賞。教育活動にも力をいれ、2011年初の著書<ピアノと仲良くなるテクニク講座>(村田理夏子訳、音楽之友社)を出版。これまでベルリン芸術大学教授、英国王立音楽院(ロイヤルアカデミー)客員教授および準名誉会員、桐朋学園大学特任教授、およびMusic Alp夏期国際音楽アカデミー(フランス)の芸術監督を務める。フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」を受章。

